

令和4年度 知立市防災会議議事録

日 時：令和5年1月26日（木） 午後3時30分から

場 所：知立市役所 第2・3会議室

出席者：会長、委員22名出席

（25人中22人の出席により、過半数を超えており、本会は有効に成立）

1. 挨拶

市長 本年もよろしくお願いたします。昨年も台風だとか大雨、また火山噴火など毎年のように全国各地で自然災害が発生をいたしました。知立市においては、幸い大きな被害はございませんでしたけれども、台風14号の接近にともなっては、災害対策本部を設置し、市内3カ所に避難所を開設いたしました。またその際はHPやメール等を活用して、自主避難ができますよという情報提供をさせていただいております。とりわけ南海トラフ地震はいつ発生してもおかしくないという風に言われているわけでありまして、今この瞬間にも発生した時にはどうしたらいいのか？どうしていくか？常にそういうことを意識して、緊張感をもっているということが大事、また備えをしておくことが肝要かという風に思っております。南海トラフの地震が発生しますと知立市でも約4,300棟の家屋が倒壊するという風に言われております。また、200名の方がお亡くなりになるという数値が出ております。幸いにも知立市は、津波の心配はまずないだろうという風に言われておりますが、平成7年に阪神淡路大震災で6千数百人の人がお亡くなりになりました。家が倒れる家具が倒れることによる圧死がほとんどだったという風に言われております。知立市も阪神淡路大震災のような家屋の倒壊による被害が大きいであろうと思っております。そうした中知立市では、昭和56年以前に建てられました木造家屋を無料で耐震診断していることとありますとか、耐震改修の補助、また耐震シェルター、耐震ベッド等々、様々なメニューをそろえて、できるだけ補修をしてください、耐震化してください、と呼びかけさせていただいております。また、公共施設においてはすべて耐震化が終わり、また子ども達の通う学校保育園の下駄箱本棚は全て家具の転倒防止の徹底をさせていただいております。常に気にしながら、忘れていないかということをやっているわけでありまして。しかし、一般の方々はこの耐震改修制度があるんですが、なかなかまだ進んでいない、また家具の転倒防止もまだまだされていない方も多いわけでございまして、そうしたことも呼び掛けていかなければならないと思っております。また、最低3日間の備蓄、1週間の備蓄で、食料飲料水トイレの水も1日5リットル必要といわれております。そうした備えもしっかりと呼びかけていかなければならない。などなど、普段から備えておかなければいけないことを、これからも啓発をしていかなければいけないと思っております。いずれにしましても、この防災会議は知立市の防災に関する根幹となることを話し合ってくださいと会議であります。本日は、令和4年度の知立市地域防災計画と知立市水防計画の修正についてご審議いただくということでございます。また、色んなご意見を聞かせていただき、ご指導いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

2. 議題

- ・ 令和4年度知立市地域防災計画の修正について

事務局 説明

市長 説明が終わりました。ご意見、ご質問ございましたら、よろしくお願いたします。

【意見質問なし】

市長 それでは、令和4年度知立市地域防災計画の修正については原案のとおり修正することによろしいでしょうか。

【異議なしの発声】

市長 ありがとうございます。

- ・ 令和4年度知立市水防計画の修正について

事務局 説明

市長 説明が終わりました。ご意見、ご質問ございましたら、よろしくお願ひします。

(意見質問なし)

市長 それでは、令和4年度知立市水防計画の修正については原案のとおり修正することによろしいでしょうか。

【異議なしの発声】

市長 ありがとうございます。以上で、議題の審議は終了いたします。

議事の進行についてご協力を賜り、誠にありがとうございました。

3. その他

- ・ 知立市防災講演会について

事務局 説明

午後3時52分 議事終了